

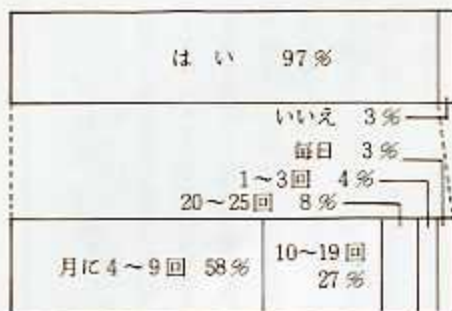
Opinion 第一回女性スポーツ京都会議アンケート結果

「なぜ、女性をテーマにスポーツ人が集まらなければならぬのですか」という問いは、いつも私たちに向けられます。その答えは、アンケートの結果にも出ています。スポーツに積極的な女性でさえ、種々の問題を抱えているのです。

今年1月、京都ホテルで開催された

「第一回女性スポーツ京都会議」で出席者にご協力いただいたアンケートの結果がまとまりました(総回答数155名)。20代前半から上は78歳という広範囲の方々に回答をいただきましたが、このうち52%が30代後半から40代前半の、家庭でも社会でも中心となる年代の方々でした。なお、今回の会議には日本OG軟式庭球連盟の会員に多数ご参加いただきました。

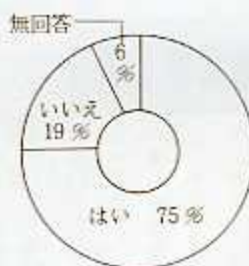
現在スポーツをやっていますか。



「どんな種目をやっていますか」(複数回答を含む)

①硬・軟式テニス84 ②体操・ダンス・エアロビクスダンス25 ③バレーボール19 ④ジョギング15 ⑤卓球9
このほか水泳、バドミントン、スキーなど10種目以上にわたって回答がありました。

現在のスポーツライフに満足していますか。



◆満足している理由

- ・生活に張りがある
- ・気持ちがいい
- ・多くの友人を得られる
- ・能率的に家事ができる
- ・家族関係がスムーズにいく

◆満足していない理由

- ・金銭的・時間的に自由がきかない

女性(主婦)としてスポーツをする上で障害がありますか。



◆障害がある(その原因)

- ・家族の理解を得るのが大変
- ・気軽に行ける練習場がない
- ・夫とのつき合いが悪くなる
- ・「遊び」という罪悪感がある(52歳)
- ・生理など体調により日程が狂う
- ・家事の時間が少なくなる
- ・遠征試合のため家をあけられず、参加できない
- ・主婦がスポーツをやることに対し周囲の理解度が不十分

このほか、次のような意見もありました。

・指導者・施設の不足

・クラブ内の試合では勝負が優先され、楽しみが隅に追いやられる

・組織がマンネリ化している

・家事で手を省けないことがあるが、スポーツをするためならば苦だとは思わない。

・女性ということではなく、仕事のためにスポーツの時間がとりにくい

・(自分の友人で)子供が成長し、これから力を入れてスポーツをしようと思う頃、親が病気になるという人が多い。反面、鍛えた体が役に立ち、スポーツ仲間のお返しも得られる。

以上の結果をご覧になって、読者の皆さんは、どのような感想をお持ちでしょうか。今回の会議の出席者は約450人。平日ということ、比較的、時間が自由に取れる主婦が多かったようです。アンケートの回答者はサークルに積極的に参加されている方が大半で、スポーツ活動には非常に積極的です。しかし一方、女性ならではの苦労もまだ少なくないようです。女性スポーツへの理解者をさらに増やす必要性を再認識させられる結果でした。